

手紙

引出しを耳にすると思ひにせし
か耳の

こんろんするのと思ふ

工夫をこらし花がらも耳の

正かししは手紙をかいていた

いんばく手紙もいろくする

手さかふに「て」でさらくとかいたもの

手さかふは三葉ほどする

それがいつの予にかすく耳く有り

私存と「はがき」をかくのが「やうと

手紙のかわりが「て」

物をかうのも「て」

「て」の時代と思つていた

「て」はかたけり

残念ながら「て」は「て」は知らず

わがやうい

それいりわに「て」は「て」

といわれ

「て」は「て」は「て」は「て」

「て」は「て」は「て」は「て」

乙

杖差しを見らと

いんじんいんじん
のこつてい

下さん
んざん

るつねい
りゅう

トちゃん
ちゅう

のこつてい
のこ

手紙に
に

私
手紙をかこう

2025
9/9